

令和7年度

沖縄県立芸術大学音楽学部

総合型選抜 実技検査

< 予定集 >

注：

こちらは令和7年度総合型選抜の予定集となっております。  
今年度受験する方は令和6年6月に公表予定の『音楽学部  
総合型選抜試験曲』を必ず確認してください。

## 総合型選抜 試験内容および試験曲等（予定）

### 全専攻共通

#### 《プレゼンテーション》

令和6年6月に公表予定の『総合型選抜学生募集要項』及び『音楽学部総合型選抜試験曲』に記載された各専攻の課題について、試験当日に口頭発表をする。

#### 《書類審査》

書類審査のために、本学指定様式による「活動報告書」の提出を求める。記載内容は、学業等に関する活動（「総合的な探究の時間」、部活動、生徒会活動、各種大会、コンクール、留学、海外体験、地域での芸能活動やボランティア等を指定件数以内）、志願理由、入学後に取り組みたいことを予定。指定様式は『総合型選抜学生募集要項』（令和6年6月予定）で公表する。

### (1) 音楽表現専攻声楽コース

**注意事項：**課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は本学で用意する。ただし、事前の伴奏合わせはない。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

<課題曲> 下記の課題曲17曲の中から任意の1曲。

<自由曲> 課題曲以外の任意の曲。曲数は問わないが、自由曲は7分以上10分以内とする。

<コールユーブンゲン> なし

※ 自由曲で演奏する全ての楽曲は、出願時に楽譜を提出すること。

※ 入学後はクラシックの声楽作品を学びます。

### 課 題 曲

①	M.A.Cesti	Intorno all'idol mio	( c-moll, d-moll, e-moll, f-moll )
②	G.B.Pergolesi	Se tu m'ami	( es-moll, f-moll, g-moll )
③	A.Scarlatti	Se tu della mia morte	( e-moll, g-moll, f-moll )
④	A.Scarlatti	Già il sole dal Gange	( G-dur, As-dur, B-dur )
⑤	G.B.Bononcini	Per la gloria d'adorarvi	( G-dur, F-dur, Es-dur )
⑥	A.Scarlatti	Sento nel core	( d-moll, es-moll, f-moll, g-moll )
⑦	F.Gasparini	Lasciar d'amarti	( d-moll, f-moll, g-moll )
⑧	F.Durante	Vergin, tutto amor	( h-moll, c-moll, d-moll )
⑨	W.A.Mozart	Das Veilchen	( E-dur, G-dur )
⑩	F.Schubert	An die Musik	( B-dur, C-dur, D-dur )
⑪	F.Schubert	Frühlingsglaube	( F-dur, G-dur, As-dur )
⑫	R.Schumann	Die Lotosblume	( Des-dur, Es-dur, F-dur )
⑬	弘田龍太郎	浜千鳥	( C-dur, Es-dur )
⑭	瀧廉太郎	荒城の月	( c-moll, d-moll )
⑮	山田耕筰	かやの木山	( C-dur, D-dur )
⑯	平井康三郎	ゆりかご	( E-dur )
⑰	高田三郎	くちなし	( F-dur )

\* ( ) 内の調は、本学が用意する伴奏用楽譜の調である。他の調で歌う場合は、希望の調の伴奏用楽譜を願書とともに提出すること。

\*イタリア歌曲は外国版を使用する時は、伴奏用楽譜を提出すること。

## (2) 音楽表現専攻ピアノコース

**注意事項：**課題曲はA,B,Cの順に演奏し、すべて暗譜で演奏すること。

繰り返しは省略する。時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

下記の課題曲A,B,Cについてそれぞれ任意の曲を1曲選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<課題曲A>

J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集第1巻または第2巻より任意の1曲  
(プレリュードとフーガ)

<課題曲B>

F.Chopin：練習曲Op.10またはOp.25より任意の1曲 (Op.10-3,Op.10-6,Op.25-7を除く)

<課題曲C>

L.v.Beethoven：ピアノ・ソナタ (Op.2-1~Op.90) より任意の第1楽章  
(Op.27-1,Op.27-2,Op.49-1,Op.49-2,Op.79の5曲を除く)

## (3) 音楽表現専攻弦楽コース

**注意事項：**すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。

試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

### ◆ヴァイオリン

<音階>

Carl Flesch：Scale system より任意の調一つを選択。

5番 (3オクターヴの音階 Tempo は♩=80~100) 全部。

6番 (3度の音階 Tempo は自由) 冒頭4小節。

7番 (6度の音階 Tempo は自由) 冒頭4小節。

8番 (8度の音階 Tempo は自由) 冒頭4小節。

\*フィンガリングは自由。

\*スラー、リズムはC-durに準じること。ただし重音のスラーは一拍ずつのスラーで演奏すること。

<課題曲>

任意のヴァイオリン協奏曲より第1楽章 (カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したものについては演奏すること)

注. ヴァイオリンを第1志望とする志願者はヴィオラを第2志望とすることができる。

### ◆ヴィオラ

<音階>

C-dur の音階。Tempo は♩=80 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。

The image shows four staves of musical notation for Viola in C major. The first three staves are in 4/4 time, and the fourth is in 3/4 time. Each staff contains a sequence of eighth notes, with a triplet of eighth notes indicated by a '3' above the first staff. The notes are slurred together, and the key signature is one sharp (F#).

<課題曲>

任意のヴィオラ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

### ◆チェロ

<音階>

J. Loeb: Gammes et arpèges より任意の調1つを選択。

4オクターブの音階、4オクターブの分散3度を、4つずつのスラーで。

4オクターブのアルペッジョを、3つずつのスラーで。

2オクターブの3度重音、6度の重音を、スラーなしのレガートで。

<課題曲>

任意のチェロ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

### ◆コントラバス

<音階>

下記の楽譜の調性で演奏する。

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。

The image displays seven staves of musical notation for bassoon. Each staff contains a different exercise. The exercises are characterized by complex rhythmic patterns, including frequent triplets and sixteenth-note runs. The key signature is G major (one sharp), and the time signature is common time (C). The exercises vary in length and complexity, with some featuring more intricate melodic lines and others focusing on rhythmic precision.

<課題曲 A>

F.Simandl : 30 Etudes より任意の1曲を選択。

<課題曲 B>

任意のコントラバス協奏曲より第1楽章 (カデンツァを除く)

**(4) 音楽表現専攻管打楽コース**

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

**【木管楽器】**

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

## 譜例



### <課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① E.Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻 (12 Medium Difficult Exercises) より No. 1, 5, 6, 8, 10, 12  
の中から1曲を当日指定する。(版は自由)
- ② W.A.Mozart : Concerto in D major K314 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

## ◆オーボエ

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

## 譜例



### <課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes op.31 より No.1~No.6 の中から1曲を当日指定する。(版は自由)
- ② J.Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg:C1 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

## ◆クラリネット

### <音階>

R.Eichler : Scales for Clarinet 全長調の1番の中から演奏する。

調、アーティキュレーションは当日指定する。

(国立音楽大学教育出版部)

### <課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Rose : 32 Etudes より No.13~No.20 の中から1曲を当日指定する。(Leduc 版)
- ② C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur op.26 J.109  
(版は自由)

## ◆ファゴット

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

## 譜例



### <課題曲>

次の①、②を演奏する。

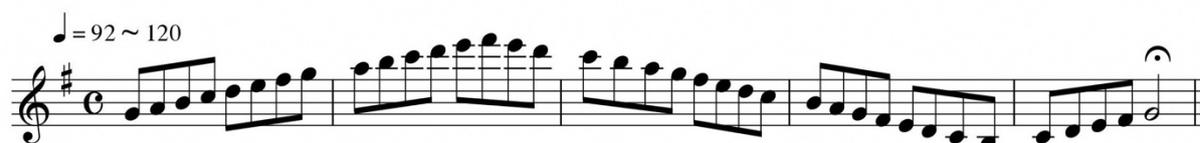
- ① J.Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 よりNo.4,6,8,10,13,14の中から1曲を当日指定する。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.L.Vivaldi : Concerto in la minore F8/7 RV497 より第1楽章 (Ricordi 版)

## ◆サクソフォーン

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

### 譜例



### <課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones より No.5,6,11,12,17,18の中から数曲当日指定する。(Leduc 版)
- ① P.Creston : Sonata op.19 より第1楽章

## 【金管楽器】

(共通課題)

### <音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

### 譜例



## ◆ホルン

### <音階>

金管楽器共通課題参照のこと

### <課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No. 3,13,15 の中から 1 曲、No.17,26,28 の中から 1 曲の計 2 曲を当日指定する。(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より第 1 楽章  
(カデンツァを除く、Breitkopf&Härtel 版)

#### ◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.8,10,12,15,19 の中から 1 曲を当日指定する。  
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② T.Charlier : Solo de Concours (Schott 版)

#### ◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5,6,7,8,9 の中から 1 曲を当日指定する。  
(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

#### ◆バストロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6,7,8,9 の中から 1 曲を当日指定する。  
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)  
※テナー用の原曲を完全 4 度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

#### ◆チューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies より No.3,10,14,15,19,20 の中から 2 曲を当日指定する。  
(Robert King 版、繰り返しなし)
- ② J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)  
※使用楽器は、B♭、C、F 管のいずれかとする。

#### ◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届け出ること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

#### 打楽器 (A) 小太鼓

##### <音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

##### 譜例



##### <小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、七つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②、③を演奏する。

- ① C.S.Wilcoxon : The All-American Drummer より No.35~46 の中から任意の 2 曲を選んで演奏する。(Ludwig Masters 版)
- ② A.J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より No.3,6,13,31 の中から 1 曲を当日指定する。(YMM 版)
- ③ M.Gordenberg : Modern school for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より I (Chappell & Co 版)

#### 打楽器 (B) マリンバ

##### <音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

##### 譜例



##### <小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②、③を演奏する。

- ① M.Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より V、XII、XIV、XVIII から 1 曲を当日指定する。(Chappell & Co 版)
- ② J.S.Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006  
イ~ハの中から任意の 1 曲を選択して演奏する。(版は自由、繰り返しなし)  
イ : Sonata I より Fuga Allegro (55 小節目 1 拍目まで)  
ロ : Partita I より Tempo di Bourree  
ハ : Partita III より Gavotte en Rondeau

- ③ W.F.Ludwig : Collection Drum Solos より 8 ページ Col.Andrews'  
(Ludwig Music Publishing 版)

## (5) 音楽表現専攻作曲理論コース

### <実技検査>

筆記試験…90分

和声課題の実施。ソプラノ課題およびバス課題を四声体で実施する。

### <口述試験>

実技検査で実施した和声課題、出願者自身の作曲または編曲作品の楽譜、音楽への意欲などに関する質疑を実施する。

提出作品には、ソナタ形式の作曲作品を1曲以上含むこと。

※提出作品の楽譜（製本せず表紙を含め、無記名）は出願書類と一緒に、提出すること。なお、口述試験の際に、提出した楽譜コピーを持参すること。

## (6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

### <小論文>

あらかじめ指定された課題図書等に基づいて出題し、論述を求める。

（ただし課題図書等は『音楽学部総合型選抜試験曲』で公表する）

### <口述試験>

小論文の内容及び課題図書等に関する質疑等を行う。

## (7) 音楽文化専攻音楽学コース

### <小論文>

あらかじめ指定された課題図書等に基づいて出題し、論述を求める。

（ただし課題図書等は『音楽学部総合型選抜試験曲』で公表する）

### <口述試験>

小論文の内容及び課題図書等に関する質疑等を行う。

## (8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

**注意事項：**課題曲、自由曲の試験は各自持参した楽器を使用すること。ただし、箏は本学で準備したものを使用してもよい。

課題曲の工工四使用は任意とする。ただし、自由曲は暗譜で演奏すること。

### ◆歌三線

#### <課題曲>

・かぎやで風節

・上り口説

※1、2、3、8番

・秋の踊り（道輪口説）※1、2、3、4番

※上記3曲の中から1曲を選択すること。

<自由曲>

琉球古典音楽、八重山古典民謡、沖縄（沖縄本島・宮古・八重山含む）・奄美の民謡から任意の1曲を選択すること。ただし、菅攪・手事など歌を伴わない曲を除く。

※本コースでは、入学後、琉球古典音楽を学びます。

#### ◆琉球箏曲

<課題曲>

瀧落菅攪

<自由曲>

琉球古典音楽、八重山古典民謡、沖縄（沖縄本島・宮古・八重山含む）・奄美の民謡から任意の1曲を選択すること。ただし、菅攪（段物）・手事など歌を伴わない曲を除く。

※本コースでは、入学後、琉球古典音楽（琉球箏曲）を学びます。

### (9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

<課題曲>

かぎやで風

<自由曲>

琉球舞踊、八重山舞踊等、創作舞踊の中から1曲を選択すること。演舞時間は8分程度とする。

<組踊の唱え>

組踊の詞章を模倣者に続いて唱えること。

※本コースでは、入学後、琉球舞踊・組踊を学びます。